



三重県 伊勢農業協同組合

『タイ向けかんきつの輸出』

【主な品目】

温州みかん

【主な輸出先国・地域】

タイ、香港

【輸出取組の概要】

- ◆ 農家の所得向上を模索する中、平成22年からタイ向け、平成24年から香港向け輸出を開始。
- ◆ 平成27年のタイ向け輸出の検疫条件変更(殺菌・防カビ対策)に伴い輸出減少。新たなマーケット開拓に取り組み、上位等級品に加え、中等品も輸出。
- ◆ 令和元年、タイ向け輸出の検疫条件変更(WAX処理義務化)やコロナ禍により輸出減。
- ◆ 令和4年のタイ向け輸出の検疫条件緩和、令和5年の現地需要回復により輸出が増加。



薬剤処理等作業の様子



病害虫や小さな傷などがないか確認する検疫官

【輸出実績】

	輸出額(千円)	出荷時期
令和6年度	16,337	11月～12月、2月
令和5年度	15,029	11月～12月、2月

【取り組む際に生じた課題】

- ・かんきつそうか病(SOS)防除のための表面殺菌・防かび剤処理の義務化、WAX処理の義務化、残留農薬検査の義務化への対応。
- ・輸送中のロス果(傷み)の低減。
- ・新たな販売先の開拓。

【生じた課題への対応】

- ・輸出検疫条件緩和に向けた要請。
- ・殺菌・防カビ対策、WAX処理機械の導入。
- ・ロス果(傷)の低減に向けた資材(セルアシストシート等)の導入。
- ・新たな販売先開拓のために、タイ以外にも輸出。

【対応の結果】

- ・日タイ植物防疫官による合同輸出検査の廃止(令和4年)。
- ・防かび剤・WAX処理の撤廃(令和5年)。
- ・資材導入により、ロス果を少し低減。
- ・タイ以外への輸出により、輸出数量が拡大。

【今後の展望】

- ・輸出用園地拡大に向け、新規就農者の積極的支援の実施。
- ・輸出量確保のため、ミカンバエ未発生産地の輸出開始時期前倒しを要請。
- ・輸送中のロス果(傷み)の低減に向けた最新式の選果施設の更新。
- ・輸出先国の拡大(台湾、ベトナム、韓国等)を検討。